



2024年3月15日

各位

会社名 株式会社石井表記
代表者名 代表取締役 山本晋宏
(コード: 6336 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 松井忠則
管理本部長
(TEL 084-960-1247)

営業外収益（受取配当金）、特別損失（減損損失）の計上及び、 2024年1月期通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年1月期連結会計年度（2023年2月1日～2024年1月31日）において、当社において営業外収益（受取配当金）、特別損失（固定資産の減損損失）を計上し、また、2023年9月8日に公表いたしました2024年1月期通期業績予想値と、本日公表の2024年1月期通期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、期末配当金につきましても、直近に公表しております配当予想を変更しております。配当につきましては本日（2024年3月15日）公表いたしました「剰余金の配当（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

記

1. 営業外収益（受取配当金）の計上について

当社は連結子会社である JPN, INC. 及び上海賽路客電子有限公司より配当金を受領（2社合計 509 百万円）し、2024年1月期の個別決算において営業外収益に計上いたしました。

なお、当該受取配当金は2023年9月8日公表の「2024年1月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想に織り込み済みであります。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社はディスプレイ及び電子部品事業用資産、遊休資産について2024年1月期の個別決算において206百万円の減損損失を計上しました。

ディスプレイ及び電子部品事業用資産については減損の兆候が認められたため、減損の認識の判定及び測定を行なった結果、当該資産グループから得られる割引前将来キャッシュ・フローの総額がその帳簿価額を下回ったため、減損損失を認識し、当該資産グループの帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額169百万円を計上しました。

遊休資産については、今後、事業の用に供する予定がなくなったことなどから、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、37百万円を計上しました。

3. 2024年1月期通期業績予想値と実績値の差異

(1) 連結 (2023年2月1日～2024年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,268	百万円 1,504	百万円 1,608	百万円 1,295	円 銭 158.92
実績値 (B)	16,729	1,580	1,721	1,101	135.09
増減額 (B-A)	460	76	113	△194	—
増減率 (%)	2.8	5.1	7.0	△15.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年1月期)	18,222	2,015	2,016	1,639	201.13

(2) 個別 (2023年2月1日～2024年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,648	百万円 454	百万円 1,016	百万円 854	円 銭 104.87
実績値 (B)	7,699	609	1,196	744	91.36
増減額 (B-A)	50	154	179	△110	—
増減率 (%)	0.7	34.1	17.7	△12.9	—
(ご参考) 前期実績 (2023年1月期)	8,435	828	1,149	974	119.51

4. 差異の理由

以下の理由により、前回予想 (2023年9月8日公表) の2024年1月期通期業績予想値と、本日公表の2024年1月期通期実績値に差異が生じるものであります。

(1) 個別

売上高についてはほぼ前回予想通りとなりました。

プリント基板分野で製造原価率が想定を下回ったこと、全社ベースで販売管理の支出が想定を下回ったことなどを要因として営業利益、経常利益は前回予想を上回りましたが、特別損失に有形固定資産の減損損失を206百万円計上したことなどから当期純利益は前回予想を下回りました。

(2) 連結

グループ全体では売上高、営業利益、経常利益ともにほぼ前回予想通りとなりました。

個別に記載した通り当社において特別損失に有形固定資産の減損損失を計上したことなどから親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を下回りました。

以上